

# 大分市報

毎月1日15日発行  
発行所 大分市役所  
編集兼発行人 安東玉彦  
印刷所 高木印刷KK

大分市制  
50周年記念  
特集号



写真説明 大道付近の  
上空約一五〇メートルからみた大分市

## 大分市制50周年を 迎えるにあたり

大分市長 上田保



市民の皆様  
大分市制五十周年のまじき日を迎ふ分市建設の第一歩であつたと思ふ精神と実績は、大分市史の光と影を成すものであります。五十年前に永く子孫に伝えられることを信じて、幸福であります。

明治四十四年四月一日に市制が実施された当時、親しく見られた市民は、今日では数になつてしまふが、あの当時市制の実施に尽力された方々は、その功績に敬意を表する。大分市がその後、鉄道、緑の開拓、ついで工業地帯の造成に至るまで、市民の皆様の努力と協力のたまひである。

大分市を育てあげた先賢に對する、私共は市制五十周年を顧みて先賢の遺志を受け継ぎ、悔を千載に残さぬよう、この記念すべき日を契機として、今後、市民の皆様の努力と協力のたまひである。

大分市を育てあげた先賢に對する、私共は市制五十周年を顧みて先賢の遺志を受け継ぎ、悔を千載に残さぬよう、この記念すべき日を契機として、今後、市民の皆様の努力と協力のたまひである。

## 大分市制50周年を 祝福して

大分市議會議長 川上勘一



わが大分市は明治四十四年四月の愛市に燃える努力、歴代市長、一日、人口一万人で市制を施した。今日に至つたのも、市民の努力と協力のたまひである。

大分市を育てあげた先賢に對する、私共は市制五十周年を顧みて先賢の遺志を受け継ぎ、悔を千載に残さぬよう、この記念すべき日を契機として、今後、市民の皆様の努力と協力のたまひである。

大分市を育てあげた先賢に對する、私共は市制五十周年を顧みて先賢の遺志を受け継ぎ、悔を千載に残さぬよう、この記念すべき日を契機として、今後、市民の皆様の努力と協力のたまひである。

## 海上護衛艦の 乗務希望者へ

大分市制五十周年記念行事の一つとして、大分港に新鋭海上護衛艦三隻（千ト級）が入港します。乗務希望者は、大分市役所（本庁）に申し込んでください。

## 市制50周年記念行事

- 一日 七日  
春まつり 市内一円、市制五十周年記念パレード（若草公園）
- 二日 八日  
午前九時 記念式典、祝賀会（県体育館）  
午後一時 物故者慰霊祭（林業会館）  
午後一時 自衛隊音楽隊パレード（駅前・中央通り・体育館）  
午後五時 小学生数隊、隊中パレード（市役所前、昭和通り・中央通り・駅前）  
午後七時 自衛隊音楽隊による音楽会（県体育館）  
午後七時 祝賀会（市役所前）
- 三日 九日  
午後五時 市政報告会、談話会（OBSラジオ放送）  
午後六時 文化講演会
- 四日 十日  
午前九時 護衛艦一般公開（大分港）  
午後一時 護衛艦一般公開（大分港）  
午後一時 護衛艦一般公開（大分港）
- 五日 十一日  
午前九時 護衛艦一般公開（大分港）  
午後一時 護衛艦一般公開（大分港）  
午後一時 護衛艦一般公開（大分港）
- 六日 十二日  
午前九時 護衛艦一般公開（大分港）  
午後一時 護衛艦一般公開（大分港）  
午後一時 護衛艦一般公開（大分港）

## 小児マヒの 予防注射

市では、次の日程で第二回目の分・津留各小学校、十三日（佳吉）午後二時から午後三時までです。





←説明…歴代城主の居城として栄えた白雉城  
(戦災前の県庁南門付近)



→説明…上市町にあつた焼失前の大分  
市役所  
(昭和六年頃)



←説明…明治四十四年十月、豊後本線(今  
の日豊本線)開通、大分駅が開通  
した当時の大分駅

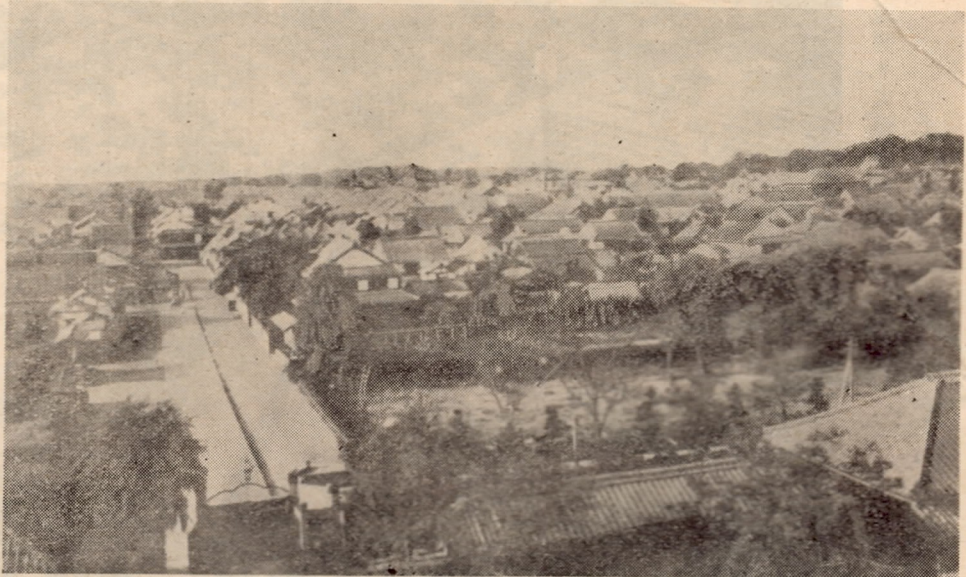


↑説明…県庁前にあつた家老屋敷の跡には、市役所や教育会館が建ちならび、もはや  
当時の面影をしのぶよすがもない(昭和の初め頃までの現市役所正門前通り)



←説明…石油基地や西日本電線などで知られる今の  
春日浦も、明治の頃まで白波よせる淋しい  
海岸にしかすぎなかつた。

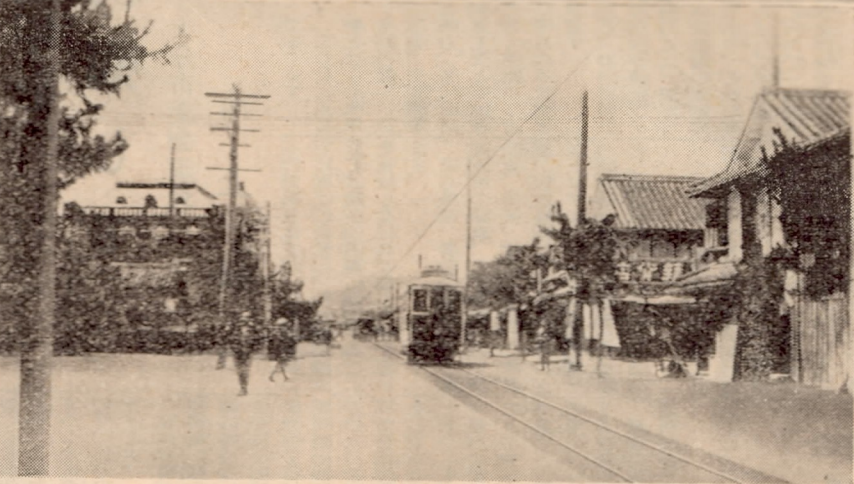
## 写真特集 目でみる市制50年の歩み



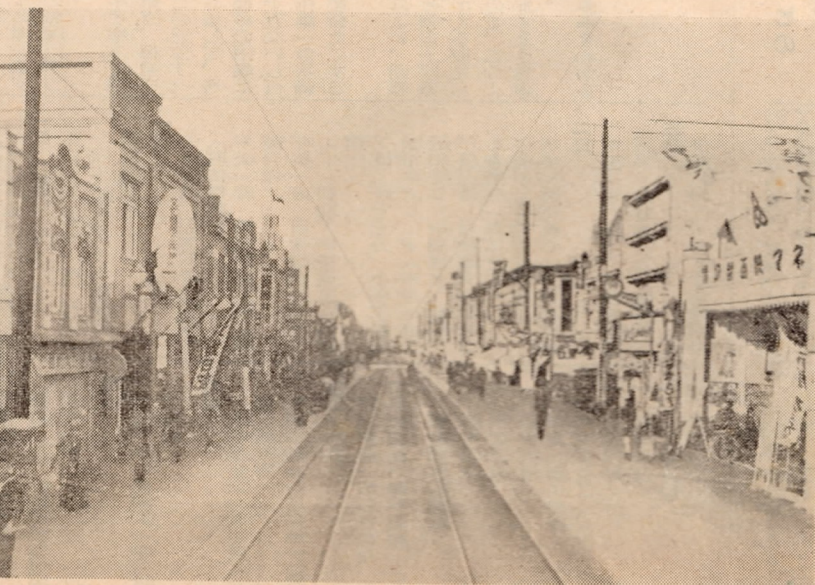
↑説明…明治四十四年四月一日大分町が市制を施行して大分市となる(市制施行当  
時の大分市、於北町の元裁判所から市内を望む)



→説明…今も昔も商店街として栄える竹町  
(大正初期の頃)



↑説明…チンチン電車もなつかしい大正七、八年頃の中央通り(電車の右の通りが  
竹町の入口)



説明…戦前のメイン・ストリート中央通り  
(昭和十五年頃)





←説明…戦災復興の区画整理によりジャングル公園、墓地公園、遊歩公園など特色ある公園が次々と造られた(写真…遊歩公園)



→説明…昭和二十年七月、大空襲により、市の中心部は瓦れきの山と化す。当時の被災家屋三、三六六戸



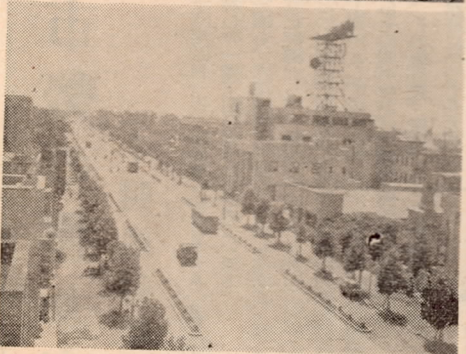
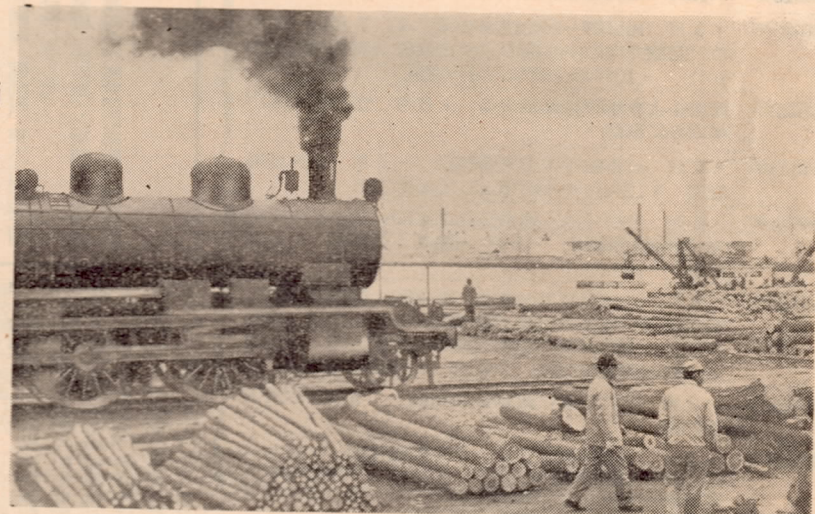
→説明…野性ザルで知られる高崎山自然動物園は昭和二十八年九月、国立公園へ編入され、昭和三十三年四月には天皇、皇后両陛下もご見学のため同地へおこしになる。



↑説明…昭和二十五年七月、建設大臣から復興事業が優秀であると表彰された大分市は、戦禍の傷跡もいえて戦前に勝る活況を呈している。(トキハ屋上より中央通りを望む)

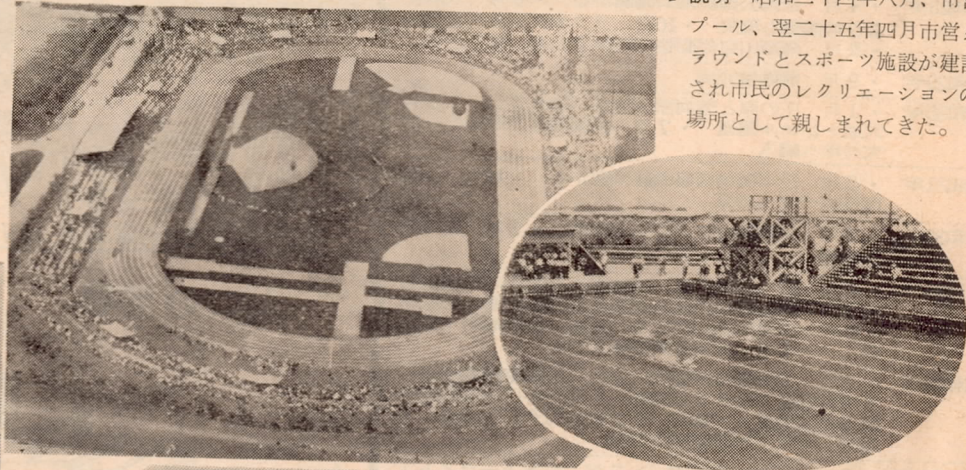


→説明…昭和二十五年四月、大分港臨港線開通し、関西、四国へ直結する海上輸送ルート開かる



↑説明…都市計画は着々と進められ、産業通り(上)や昭和通り(下)などのデラックス道路が次々と建設された。

↑説明…昭和三十年三月、全長三〇八メートルにおよぶ大道トンネル完成、熊本方面を結ぶ交通の要衝となる。



✓説明…昭和二十四年八月、市営プール、翌二十五年四月市営グラウンドとスポーツ施設が建設され市民のレクリエーションの場所として親しまれてきた。



↑説明…馬蹄型改札口や大ロビー等の近代的設備を完備した大分駅は昭和三十三年四月に完成した。



→説明…当市と県南を結ぶ舞鶴橋、昭和二十九年九月に完成(幅員一五メートル、延長三〇三メートル)



飼犬の登録  
と予防注射

本年度第一回目の狂犬病予防注射と飼犬の登録を次の日程で行ないます。

登録料は一頭につき三〇〇円、注射料は三〇〇円となっております。

近々の場所をお受け下さい。

四月五日（春日公園）六日（新川大分石炭前、中島十条曲角）七日（中央公民館前・長浜神社前）八日（保健康所裏庭）十日（八幡出張所・田の浦腰脇）十一時、白木駐在所十一時三十分（十三時）十二日（滝尾出張所南大分児童公園）十三日（東大分出張所・萩原分所）十四日（日岡出張所・桃園公民館）十四日（上野千鳥宮前、大道二丁目水道課分室）